

指導主体としての保育士・幼稚園教諭のキャリア形成に関する研究 (6) —休職・復職・転職に際した心理的葛藤に生じるジェンダー観や恋愛観に着目して—

A study on the career design of the childminder and kindergarten teacher as a guidance agency (6)

—Focusing on a view on gender and love emerging in psychological conflict in the face of suspension from, coming back to and changing their job—

玉木博章

愛知みずほ大学(非常勤講師)

Hiroaki TAMAKI

Aichi Mizuho College (Part-time lecturer)

キーワード：保育者；人生；恋愛；キャリア；心理的葛藤.

Keyword：Child care person；Life；Romantic love；Career；Psychological confliction.

1、はじめに

1-1 前稿との連関から

前稿(5)では人生の岐路に立つ保育者の姿を、キャリア形成の視点及び、若者論の視点から分析した。Hさんが背負った苦難は前の職場の上司の責任であるにも拘らず、結局個人に全て帰され、退職と転職を余儀なくされた。Hさん自身も仕方が無いと受け入れてはいたものの、そうした錯覚はA.ファーロングとF.カーメトルによれば認識論的誤謬見なせるだろう¹⁾。ただ優秀でありながらも必死にもがくHさんがキャリア形成の軸としたものは収入であり、その点を鑑みれば保育者不足を解消するためには早急に給与引き上げが求められる。

他方で、そのようなHさんを支えていたのは彼氏も含め、SNSで培った豊かな人間関係であった。絶望的な状況にいる彼女が、幾分か笑ってられるのも、そうした若者文化から得られる資源を彼女が有効活用することができたからであろう²⁾。

1-2 前稿までから見える問題の所在と本稿の主旨

本研究の特に(3)(4)(5)では人生の分岐点にいる保育者に調査を実施し、そういった契機に保育者が自らのキャリアをどのように捉えているかを明らか

にしようと試みた。本稿でもそういった試みを継続し、岐路を経験して転職を果たした保育者に調査を行う。

加えて研究(4)(5)での3名の姿は、保育者でもあり若者でもある様相であった。それらを踏まえれば、若者文化論の観点から保育者のキャリア形成を捉え直す必要性も示唆された。特に彼女達の人生観にはジェンダー観や、占いやアプリといった若者独特の文化性が作用していた³⁾。そのため、本稿でも岐路に立つ保育者の心理に若者文化がどう作用しているのかについても分析していきたい。

2、調査の手法と内容

2-1 調査に関する詳細

今回も保育者のキャリア形成における職業観やジェンダー観等に関する心理を明らかにすべく、関東で保育者として勤務する女性に調査をした。通例通り、半構造化インタビューの形式を取り、自由な発言を促すためインタビュアーも適度に雑談を交えている。インタビューイの抽出に関しては、筆者らの知人を辿って行った。本稿では復職を果たした1名への調査内容を掲載する。調査及び分析を行う上で、対象地域が限られている点、またサンプルの年齢的偏りや無作為抽出ではないという点は考慮すべきである。詳細や質問等

は以下の通りである。当然ではあるが本稿執筆に際して、録音と記載の同意を得ることで倫理的配慮をしている。なお、今回のインタビューイは筆者の友人でありラポールが形成されている。休職等で悩んでいる折には何度も相談に乗ってきたが、とてもインタビューに応じられる状況ではなかったため、復職を果たした現在ようやく自己整理がつき、調査に応じてくれた。

実施時期 : 2020年2月
 実施人数 : 1名
 実施対象 : 保育者としての勤務経験を持つ者
 記録方法 : ICレコーダーを使用(記載同意済)
 質問内容 : 学生時代の学び、保育者の仕事、キャリア、給与を含めた職場環境。また結婚、出産も含め、今後どのように働いて人生を過ごしたいか語ってもらった。
 倫理的配慮 : 研究の主旨を伝え、論文化することに予め承諾してくれた対象に協力してもらっている。また個人が特定できる情報は記載していない。

なお調査内のTは筆者を示す。分析の際、インタビューイの発言は、ある程度インタビューアの存在に影響されている可能性も考慮に入れる必要がある。また研究全体の一貫性からインタビューイをIと記載した。

2-2 20代Iさんに対する調査

Iさんはインタビュー当時23歳。短大を卒業後保育士として幼稚園に勤務して離職し、2年目に保育園に転職した。筆者とは1年半前にTwitterを通じて知り合い、関東圏の他職種を含めた集まり等で何度か交流している(2020年2月1日14時から2時間程度実施)。

T: とりあえず園変わったじゃないですか。もうすぐ年度終わるけど、どうですか。1年近くやってみて。

I: 変えて良かったです。あの時、思い切って辞めて、ずるずる引きずらなくてよかったです。

T: それは何で?

I: 人? 人間関係が違うのと、あとは、幼稚園と保育園っていうの、ものがまず違うっていうのもあるけど。

T: 前は?

I: 幼稚園。うちの幼稚園、特殊っちゃ、特殊だったので。普通の幼稚園がやらないようなこと、普通にやったりしたので、なおさらなんですけど。まず、自分が通ってたっていうところに縛られ過ぎてた。

T: そこ、通ってたんだっけ? その幼稚園に。

I: そうなんです。誘われて、実習も行ったからってことで、悩みに悩んで。絶対、大変ってのは分かって

たけど、取りあえず、と思って、やってみただけど。まず、裏と表が激しいっていうか。いいとこしか見せないし。子どもしか大事にしないし、もっと、職員を大事にして欲しかったなって、私はすごい、今、思う。

T: 子どもは大事にしてた印象はあるんだ? それは。

I: ただ、多分、こういうふうにならされてるとか、親は知らないんだろうなっていうのが正直なところで。この時代、やっぱり。

T: それは、子どもを大事にしてないってこと?

I: してるけど、子どものためって言って結果、虐待みたいなパターンが今の時代、多いじゃないですか。私が子どもの頃は、多分17、16年前は、そこまで虐待とかも、そんなに騒がれてなかったし。他の親に怒られるとか、友達の親に怒られるとか、当たり前だったけど。今、それが無いのと。別に友達の親に怒られることには、全然、私もいいと思うんですけど。加減って。どこまでがいいのかとか。暴力がいいのかとか、分からないし。別に殴ったりはしないんですけど。普通に、ドンって、突き飛ばすのとかも、してた幼稚園だったから。こういうふうにならされてるってことは、親達はきっと知らないんだろうなっていう。正直、私の母も、そんな怒り方してた? みたいな。

T: お母さん、同業者だっけ?

I: 母は介護なんですけど。私と妹を入れてるから。

T: 保護者的な目線で見てもたけれど、でも、いざ、娘を職員にしてみても、みたいな感じなんだ。

I: 私が働いて、職員としての目線を話すと、何、それ? みたいな。実際、私の習い事で昔一緒だった人が、お母さんになって。子どもが実際通ってたけど。やっぱり、朝から私と同じ症状のやつ。結局、朝から吐いて、行けないって。子どものうちからそうなる、おかしいじゃないですか、やっぱり。だから下の子は絶対に入れないって言うてるけど、そういうのを見て辛しい。仕事も多いし、エピソード系が多かったです。文章作ること自体多くて。それをまた練習して、あなたのために練習してる、みたいな。別に私のために練習してるって、そんなの悪いけど、当たり前じゃないですか。練習させるのは、それを堂々と言われても、そんな上司がそういうふうにするのは変な話この業界では当たり前で。普通のOLのことだから私、分からないですけど。先輩が教えて、先輩が責任を取るってのが介護とか看護とか救助って、しょうがないじゃないですか、現場だと。でも一応先輩が責任取ってるっていうの、言っただけ怒られ方も酷い。やる気が無いだの何だの言われる。家でやっぱり自由が無いから。家帰っても仕事してるから結局エピソードとか色々文章とか書いたりすること考えると、寝るまで仕事して、ふらついてるじゃないですけど。私だっ

て人間だし。自由が欲しいし。寝たいし。休みたいし。

T: 他の職員の人は、できてたの？それで。

I: それが当たり前でやってきてるから、それをやるのは悪いけど当たり前だから、みたいな感じで。だから結局、結構性格もいじわるな先輩も多かったりとか。

T: そこで淘汰されて、残った人ね。

I: だから結局母も「悪いけど、そんなところで仕事はさせられない。こっちとしては」って。「あそこの幼稚園だからママはいいと思ったし。園長先生も知ってるから入れたのに、悪いけど任せられない」って。「ちょっと親としては無理だから」って。だから辞める時も結構苦労したんですよ。母だけが呼ばれたりとか。

T: 顔見知りだから余計に辞めにくかったんだね。

I: 私が吐いたのは、胃腸炎でも何でもなくて、結局精神的な、元々頭痛つてもあったんですけど。あまりに薬も効かない、注射打っても効かない、何しても駄目で、起き上がれないぐらい頭痛くて。その後、嘔吐を繰り返して。結局大学病院行って「精神的なものだから、これは休んでいいし、精神科紹介するから。精神科行って診断書書いてもらえれば休めるから」って言われて。休ませてもらって。その休みの、「休みます」って言った時に、母に言われたんですよ。休む前に運動会が終わった後の代休だの、何だのに。運動会までは何とか頑張ったんですよ。遅刻したり、休みながら。

T: そうやって言ってたもんね。

I: でも私、こういう格好がよかったの。ブラウスに、ロングスカートとか、ブラウスにスカートとか、もともとそういう格好が好きで、そういう格好するんですけど。まだちょっと、園全体で、研修旅行に行きますとかっていう時は、園に合わせての格好だったから、シンプルなブラウスにワイドパンツみたいな、いまどきの。別に、あんな格好、元々好きじゃないし、しないです。だけど、そういう私が、自分が好きな格好で、元気になって外出てると、何で？みたいな。確かに、傍から見たらそうかもしれないけど。わざわざ、服装まで言うことないし。近所だから、園から近くて、お互いが近所だからこそ、目撃されるっていうのもあるけど。どう見ても私、習い事の時の髪型してるし。

T: 堅いよね、本当に考え方が。

I: 本当、昔の昭和の考えだから。何でそこまで。それも母だけ行った時に言われて。でもママは「ある程度は言い返したよ」って。「元々ああいう格好が好きですし、別に研修を園全体で行く時もああいう格好は園に合わせてそういう格好してるだけであって。元々娘はそういう格好はしません」って言って。「別に服装は別に本人がそういう服装が好きだから着てると思えますけど」ってことを言っていて。だから結構辞める時も休む時も大変で。また更に本部があるんで、その上に

本部がある分、本部通さなきゃいけないっていうガチガチ感。それも結構大変で。だからママにも「行きたくないよ」って言われて。関わりたくない、できれば。

T: それを例えば、辞めれてたじゃないすか。辞めて1回、しんどい状態にあったよね、一時期。そこから立ち直れたのは何でなの？

I: 休んだから。辞めたから。

T: 普通に冷めたってこと？

I: それは、寝てたのと、あとは多分、薬もあると思うけど。何だろう。ちょっとずつ習い事も復帰してたんです。自分の好きなこともできる。でもやっぱ子どもは好きだし、働きたいし。去年の10連休、去年だけ10連休で長かったじゃないですか。ゴールデンウィーク。それもあつた。それまでには仕事したいし。仕事しないと生きていけないし。だから別に、子ども自体嫌いじゃないから。色々見てたりしてたら、やっぱ、いいなっていうのは思ってた。

T: バレエ好きだから、いいじゃん。バレエ無かったら、どうだった？

I: でも多分、バレエ無くても、家にピアノがあるから、ピアノやってれば。弾きましたし。

T: 何かやってたってこと？

I: あと母が。もう家にいなくても、私が1人でお留守番できるようになった時には家のことやったりして。これとこれ箇条書きに、洗濯掃除お使い、みたいな。

T: 気が紛れる、確かに。

I: 気が紛れるようにしてくれて。病院、朝1人は病院とか。家の家事。料理も母としたし、夜。

T: いいお母さんだね、本当に。

I: だから勤務中も、やっぱり「何それ」みたいな。「おかしくない？」みたいなことは、結構言ってくれて。周りの同期は知らないんです。通ってた子じゃないから。そういうものなんだって思っちゃってる。でも私の時は元の時もっと違ってたよね、先生達って。

T: 同期は辞めてないの？ ちなみに。

I: 私、入れて、3人辞めてます。

T: それは自分的にどう思う？ その辞めた時。

I: そりゃそうだよなって感じです。ただ、よく2人は粘ってるな、っていう。

T: その2人は何か言ってた？

I: 事務みたいな先生がいるんです、1人、普通に。園長の隣で仕事するような。その人が大体毎日お茶作るんですけど。お茶を作ってくれてる先生で。その人が、何て言うんですかね、精神的にサポートはちょっとしてくれたりするけど、その人と話す時間まず持たないの。本当、朝行った時にちらっと話すぐらい。ただ「その人がいなくなったら辞める」とは言っていない。だからでも、私はその同期ほど、そこまであの子達と

離れたくないっていう気持ちは正直、無かったし。

T: 自分の人生も大事だもんね。

I: そこまで自分の人生、自分の時間、若いうちに、プライベートも楽しめないなんて私は絶対やだって思ったから。思いきってスパって辞めて。それも前の先輩が3つ上かな、幼稚園の先生いるんです。その幼稚園は4時半に終礼っていうのを毎日ちゃんと決まってる。そこから、残業するかしないかっていうのを決めるから。基本ちょっと残業しても5時には帰れるんです。だから「何してんの？毎日」みたいな。「私も分かんないですよ。何してんだか正直」みたいな感じで。だからそれ知っちゃってから。午前保育なんて苦痛でしかなかったです。子どもが早く帰っちゃうから。

T: ひたすら、余計な仕事ばかりやるみたいな。ちなみに、辞めたじゃん。辞めて、そこでまた保育士に。他の仕事、考えなかったの？

I: 考えました。ただ、私にはアパレルは無理だし。洋服好きだし。髪も染めたいし。染めてますけど。何て言うんだらう。

T: アパレル、やってそうだよ。アリ(笑)。

I: 服、好きだし。ちっちゃい頃から、おしゃれは好きだったから。それはずっと変わらず。服が好きだから、アパレルも考えたけど。アパレルだと、土日休みじゃないし。サービス業だから普段人が休んでるところは休めない。私はずっと土日休みでしか、バイト以外はしてきてないから。5日働いて、2日休んで、5日働いて。それが絶対に固定されてるじゃないですか。たまに土曜入ったりするんですけど。そのサイクルでやりたいのと、あと、ちゃんと福利厚生がしっかりしてる。お給料も出る。それなりに出る。ボーナスもある。資格ですよ。

T: 保育の仕事が好きっていうのは？

I: 好きな。保育は好きです。子どももかわいいし。大変だけど。好きだし。

T: それだけではないんだ？

I: でも自分とか、給料とかも、休みとかも、全部ひっくるめて、やりたいとは別に。現実的にこの仕事しか無理だと思って。

T: 自分には？無理？

I: そう。頭悪いから、そんなに生産的なこともできないし。パソコンも、デスクワークは絶対に、やだったから。そしたらないし。やっぱり戻りしかないと。色々探した結果、Uターンして。

T: 探せるって言ってたね、そのサイトみたいなやつっていうのは。それは、どんな感じのところなの？

I: それは、登録して、基本的に保育士。

T: 保育士の、マッチングサイトなのね。

I: 多分広告載るんです。保育だの、調理だの、介護

だの。その中の保育っていう人の職種、保育にしたんで。そのまま流れて、その人と話してるんですけど。

T: 条件入れたら、勧めってくれるってこと？

I: すぐ電話きて。今の現状どういうところで働いてたんですかとか。「それは酷いですね」って色んな人に言われて。それは無いわ、みたいな感じで。「ちなみにこの園ですか」みたいな。どこどこですって感じで。

T: それで今のとこ・・・。

I: 収入と距離と、自分が住んでる地域と、私は実家からしばらくは出るつもりないんで、この辺がいいですとか。保育園だと早番があるので、あんまり遠いとキツイですって言って。幼稚園にはもう無理って思ったから、「保育園でお願いします」とは言って。なるべく残業無しってとこやって、今行ってる所は大きな会社のスタッフ室。大きな会社だし、いくら本社があるといえど、その基の本社がすぐでかいから何とか潰れることはまず無いかなと思って。保育園だし。

T: 保育園と幼稚園の働いてみた違いっていうのは？あそこの幼稚園だったからとかじゃなくて。

I: うち今、人手不足すごいですけど。中でも、うちの園は酷いんです。ちょっと色々あって異動しちゃったりとか。だから常勤と非常勤で賄ってる。ほぼ非常勤さんが何とかしてくれてる感じで。そうすると常勤とか非常勤、時間が決まってるので。例えば朝8時から働いたら5時までなんですけど、保育は7時まであるので。一応それって、次の先生に引き継ぐんです。それができるから、ちゃんと仕組みがしっかりしてるから。保育園の場合シフト制なんで。だから自分の仕事もその後、変な話、残業もできるし。でも、かといって私はもう担任持ってるんで。クラス持ってるから。大変だけど先生が助けてくれるし。場所にもよるかもしれないですけど。この地域はそんな都内の方じゃないから結構のんびりしてる地域なんで。穏やかな人多いじゃないですけど。子どももそんな変な子いないし。

T: ちなみに、サイトはどうやって知ったわけ？

I: いっぱいあるんです。保育士、転職、サイトって。バツって出てくるんです。

T: 調べりゃいいっていうリテラシーがあるもんね。

I: マイナビだとか、リクルートだとか、有名なサイト、いっぱいありますけど。私は結局、サポート保育っていうところでやって。条件言って。だから、今頃でした、面接。去年の1月の終わりに。

T: どれぐらい休職してたの？

I: 10月の6日が運動会で、覚えてます。7日、8日休みだったんです。9日から。火曜日から普通なんですけど。私そっからもう行けなくて、1週間。1回お休みもあつたんです、16日まで。とりあえず1週間休んで。17日に行きました。その日の昼で、駄目だっ

たんです。もどしちゃって。10月18日から正式に休んで。そこから園長と事務の先生、2人ぐらいしか会ってないです。

T: やりとり。辞めるために。

I: 1回だけ。一切みんなの前に行けないし。会いたくないし、顔も見たくない。

T: いつ辞めようと思ったの？結局。

I: もう、その時点で、無理だねって。もう行けないでしょう、って。ただ、病院とか行く関係で、何とかして巧いことって引き延ばさないと病院に行けないから。手当も貰って。そういう手当はくれてたので、そこはよかった。そういうところはいいんです。

T: 半年しか行ってない、仕事してないじゃないですか。新卒で入って半年で、みたいな感じだったから。完全に変わって、今新しいところに。自分の中で保育園か幼稚園かって、拘り無かったんだ？そんなに。

I: 今はありますよ。

T: あるの？

I: 今はやっぱ、保育園の方が、働きやすいかな。今から幼稚園は正直、キツイ。

T: それは？

I: 世間的に若いうちじゃないと幼稚園は働けないし。

T: それは何で？

I: やることが多過ぎるっていうのと、行事が多いので、体力的にとか。

T: 仕事、しんどいんだ？

I: 仕事がしんどいの。終わる時間にも、そういうふうにならんと毎日4時半に終わります、みたいに決まれば、ある程度働けるのかなって思うんですけど。実際、正直分かんないです。正直幼稚園の方が、劇だとか、誕生会だとか、こまごまとした行事は多いです。保育園はドカンって感じで。うちも季節の行事とか、何やかんやあって、結構。避難訓練とか毎日忙しいんですけど。非常勤さんが助けてくれるのと、昼寝の時間があるから、そこで結構、がっつり。

T: 非常勤の人って、結構、ベテランの人多いの？

I: 半々ぐらい。でも、ほとんど、ベテランの人とか。

T: かつてやってて、結婚して、帰ってきてっていう感じなの？

I: とか。私と同じ年ぐらいの娘とか息子がいる分、半分お母さん。「私、お母さんだよ」とかって言う。

T: ある種、先生の先生だよ。

I: 「娘みたいよ」みたいな感じで。「年齢だけは、娘よね」みたいな。

T: 幼稚園はなかったの？ そういうのは。

I: ありましたけど、あくまで本当に補佐。

T: でも、例えば、そこで同じように先輩の人がいるのに。非常勤だとしても今のとこだと、こっちの人

に助けてもらおうっていう感じで、同等それ以上ぐらいの存在な訳でしょう？前のは何でそうならないの？

I: 何で、でしょうね。私もそこが不思議で。

T: やるなって言われてんの？

I: 喋る時間が無いんです。必死です。限られてる、時間が。あとは本当、制作だとか謎に時間の無駄な会議とか。誕生会の劇の練習だとか。保護者会の練習だとか。あと、何したっけな。色々あったんです。とりあえず色々いっぱいあって。

T: 教育という名の下に仕事が多いよね。

I: そこまでしても、どうせ、子どもの教育なんて、ほんのちょっとなんだから。考えてもね。

T: それを言いだしたら、あかんけどね。

I: それを拘る園だったの、今まで私が子どもの頃から続けてきたから、って理由なんですけど。彼らからしたら。っていうのと、あとは私が卒園する時の園長先生は、私達の代が最後だったんです。妹の時は、違うんです。妹の時の園長先生は今の園長先生なんですけど。私が通ってた時の園長先生も、一応来てるので、別に。〇〇から、わざわざ歌の先生として来てる怖いおじいちゃん先生みたいのが来てるんです。その2人がいる限り自由は無いんです、今の園長に。だから結果的にその下の先生達も、それに従うしかないし、それが正しいと思っちゃう。あとは助けてくれない。

T: 今の保育園が、そうならないのは何でなの？

I: 何で、でしょうね。

T: 何でなんですか？自分的に働いてて、それは何？割と園長先生が自由なの？考え方的に。

I: 全然。むしろ、園長は結構酷いです。変わっちゃったんで。

T: だけれど、そういうふうにならないんでしょう？

I: でもみんな考え方が一緒っていうか。どうなんでしょうね。分かんないです、私も。ただ私が新人っていうのもあったのかもしれないし。5人もいたし同期。

T: それは幼稚園の頃？

I: ベテランの先生、5人辞めちゃったから。その分、そこに入ったのは、新人だから。

T: だから余計に。

I: 酷かった。

T: やらせざるを得なかった、みたいな。

I: 結構、正直、かつかつな年だったんです、っていうのもあるかもしれないし。やる事が決まってる分「ここまでもっていかないって」とって目標が高過ぎて、新人がこんなんしてたら、いけるわけじゃないですか。だけど、ここまでもってかかないと気が済まないですよ。結局そんなの保護者と。保護者なんて、変な話、新人の先生が頑張ってたなら、それでいいんです。かわいがってくれれば、私的には。私がもし親だ

ったら。だけど先生達は「ここまでもってかないと」っていうプライドが高いんです。だからちょっとでも新人同士で喋ってたりすると「何で新人さん喋ってんの」とか。結構そういう雰囲気とか出てたし。新人が全部やらなきゃいけない、みたいな。ぶっちゃけ、そうなんですけど。そんなこと言われなくたって、やるに決まってるじゃないですか。やってるのに、やらなaidaとか。認めてくれないんです。

T: 伝統なのか何なのか、本当に。

I: 今の保育園は、0、1、2、3、4、5っていう、クラスの並び順なんです。私、4 なんて真ん中なんですけど。5 がベテランの先生で。3 が私の1 個上の年の先輩が働いてたんですけど、異動しなきゃいけないってことになって。他の園が人足りないからとか言われて。主任の子がやってるんです。そうすると私、ベテランに挟まれてるんです。それが、今年度変わった園長が酷くて結構「I 先生は守られ過ぎなんだよ」て。こっちの先生は、言われたけど「いや、守るのは当たり前だし」って0 の先生も。年齢は1 個上なんですけど、同期なんですけど。あんま聞かないっていうか、分からないことを聞かないでやるっていうか。一度、0 の担任を持ったんですけど。私はキッチリ聞いてたんです。こっちがバタバタだったんで。今は、幼稚園の時は壁で全部、扉が1 枚あるんですけど、壁。保育園はパーティションなんで。変な話、ボタンってやればすぐ見える状態だったから。

T: 年長の先生が助けてくれるのが、助かるんだ。

I: ちょっと様子をお互い見たりしながら。アイコンタクト取ったりとかしながら、時間調整とかしたりできてから連携は取れてて。私、うるさいぐらい、こうでしたっけ？ どうでしたっけ？ みたいな感じで聞いて、これでいいですか？ とか。これやったんですけど、どうですか？ とか言ったりしてるんですけど。書類も私は遅かったけど、一応出してはいて。

<中略>

I: 私も1 個提出遅れちゃったのがあって。そしたら「I 先生来てちょうだい」みたいなこと言われて。行ったら「I 先生だって、みんなと一緒だからねって。そうやって、I 先生は、いい雰囲気、色々やってるかもしれないけど、見守られ過ぎてんよ」みたいな。いやあ、みたいな。そんなこと言われても、みたいな。呼び出されて「後で来てちょうだい」って言われた時に、行く前に、この2 人の主任と、この先生に「別にさ、とりあえず、はいはいって聞いとけばいいんだよ」って。「行っておいで」みたいな感じで追い出してくれるような感じだったから。

T: 味方がいるのはいいね。

I: 味方がいるのとは全然違うし。

T: 前はいなかったんだ？

I: いなかったです。孤独です。実は、私、1 人、嫌いじゃないですよ。1 人好きですけど、むしろ。そういう孤独は、訳が違うじゃないですか。

T: そういう意味では孤立した去年でしたね。

I: 占い通り、です。それで今年幸せだから来年怖い。

T: 続けていけそうなんだ？ とりあえず。

I: とりあえず、何とか。

T: そうか。だってもう終わるもんね、とりあえず。そういえば5 月に会った時に、突然、研究任されたっていうのは、それは何でなんですか？

I: あれは〇〇グループ独自のやつで0、1、2、3、4、5 歳それぞれの発達研究をしなきゃいけない。

T: その、ほぼ新人じゃん、だって。

I: そうなんです、でもみんな、そうなんです。バラバラです、年齢は。ただ私のグループは、大体、3 人ずつなんですけど。若手が多かったっていうのもあって、いい感じに進んで、無事終えたんですけど。

T: 何でそんなやることになっちゃったの？

I: 知らないです。毎年違うんです、何歳とか。

T: それは4 歳やれって言われたの？ 園で？

I: 4 歳は、この園と、この園の人で。2 歳は、この園とこの園の人ね、って。

T: たまたま、もってたから、やれって言われた？

I: そう。だから、うちの園は2 歳と4 歳で、私が行くことになり。それぞれ研修とかも多いんで、どっこいどっこいなんですけど。

T: でも、不運なりに何とかやってこれたね。

I: でも、それ自体は、別に、残業ほどは。前ほど。

T: 手当出るの？ ちゃんと。

I: 出ます。

T: 勉強になった？

I: まあ。でも、ぶっちゃけ面倒くさいです。限られた中で、運動会だの何だのってあんのに、宿題みたいに、限られた保育の中で、やらなきゃいけないことは、結構きつかったんですけど。お互い、私もそれやってみます、みたいな。同じ年齢だからこそ。子どもの質も違うから、あるんですけど、月齢とかも違いますし。

T: 連絡取ったりするの？ 他の先生とか。

I: それはしない。ただ、定期的にその研究は、2 カ月に1 回ぐらい集まらないと、こっちもまとめられないから。うちの班は、4 歳グループは、2 カ月に1 回ぐらいで集まっていますけど。

T: 年度で終わるんでしょう？ もう今年で。

I: とりあえず。でも来年も、もしかしたらこれ自体、もしかしたら5 歳担当が私かもしれない。そうそう、かわいくないですか。うちのクラスの子なんですけど。

T: これコピーってやつは何なの？ これは。

I: これは販売のやつなんで。私はわざわざ買わないんで、写真自体は。

T: 落とししたわけね。こういうの、ネット上にアップされるわけ？今は。

I: パスワード入れて。

T: それで保護者が買えるんだ？昔は張り出しだったじゃん。

I: それ、幼稚園生。幼稚園は大体そう。

T: 逆に保育園はもう、こういうことやってるんだ？

I: 保育園はやっぱり、親が時間無いんで。

T: そういうシステムとかも進んでるんだ？逆に。

I: 今、電子系です。

T: アプリとか使ってる？例えば。出席アプリとか。

I: 手書きです。それにこの写真のやつは多分この園もやってますよ。

T: 園のホームページがあって、そこでってこと？

I: 写真屋さんです、これは。学校とか今来れないんです。親が見に行けないしっていうのもあって。

<中略>

T: 例えば愛着障害気味の子どもの家族の姿見ててどう？この後、彼氏に会いに行くんだし。自分もいつか結婚するかもだし。その辺はどう思ってるの？今後。

I: 子どもは要らない。結婚はしたいと思いますけど、私にまだ子どもを育てる責任感を持ってないし。まだ世間知らないし。まだ仕事で子どもと関わってたいかな。

T: まだ、実質、大学出た人の1年目だもんね。23だから。今の彼氏と、そういうことは考えられるの？

I: でも、言ってくれてる。

T: いくつだっけ？相手。

I: タメ。

T: どこで出会ったの？今の彼氏は。ちなみに。

I: アプリ(笑)消しちゃったかな。でも、今の人は。結婚したいとは思ってるよとか、結構サラっと言うし。多分、早くて半年後には一緒に住むと思うし。

T: アプリか、やっぱ。何やってんの？彼は。

I: 大工。内装の。だからこういう壁とかレストランとかスーパーとか。棚作ったり。ある程度の家具は作れるから作ってよって言うけど。でも替えるかも。

T: どういうこと？彼が？

I: 今の仕事は給料面でも。夜勤とか入るし。時間外が多いから。時間外に対しての、労働に対しての金額がおかしい、みたいな。

T: なるほど。でも流行ってるね。アプリ今本当に。

I: 正直、親はもう知ってるんですけど。親に、まず、普通に正直に言ったけど、そういう感じで会ったって言ったけど。今、色々アプリを題材にしたマンガとか、LINE マンガとかあるけど、意外と利用してる人多いんで普通だし。だから別に。上京してきてる人だから。

T: どこなの？

I: ○○。最初は抵抗あるけど、でも友達に勧められて、やったんだよね。元彼と連絡途絶えてる時とかも、「もったいないじゃん」みたいな。何のために、仕事するアレがないじゃん、みたいな。目標が。今の彼氏とは毎週末会ってて。お互い土日休みだから。5日働いて、会って、5日働いて、向こうの家にも行って、みたいな。半同棲みたいになってて。

T: 彼氏がいることが支えになってんの？

I: だから1週間も待てんです。「きょうの○○君どうだった？」とか、普通に聞いてくれるし。

T: いい人だね。しかも、いい人なのもそうだし、今、いなかったら、仕事頑張れてなかったってこと？

I: 多分。だから、いい人だからこそ、まだこれは、子ども要らないと思うんです。

T: どういうこと？それは。

I: まだ自分だけに気持ちに来て欲しい。私も、まだそうでいたいし。子どもができれば。私も多分、そっちばかりになっちゃうし。

T: この気持ちを持ってこと？

I: まだもうちょっとね。まだ半年ちょいしかってのもあるけど。結婚自体は早くしたいんだよね。籍は早く入れたいけど。子どもはちょっと。だから色んな親見てるから尚更思うんです。私は絶対まだこういう、子どもを育てるのは無理だな、とか。子どもの成長なんて、アツという間だし。本当にちっちゃかったのに、みたいな。でも、だから尚更インスタで。子どもが熱出るのもハッキリ言って当たり前なんですけど。高いじゃないですか。代わってあげたいとか何だの言ってますけど。そんなの当たり前なのは、しょうがないだろ、みたいに私は思っちゃうんです。でも「私ママやってます」みたいな人。そういう気持ち無いかもしれないですけど、自然と私、性格悪いから、そう思っちゃうんですけど。だから、は？みたいな。見てて。そんなの当たり前じゃん、みたいな。私はその倍、見てんだよってなっちゃうし。そっちは1人で3人以上の子ないだろうし。こっちは絶対0歳は1人対3人って決まってるから、3人見るのも結構キツイんです。ビビって、センサーみたくやっとかないと。それだけだったら、疲れるんです。自分の子どもじゃないから、怪我なんてさせられないし。逆に言っちゃえば、保育園に預けるってことは、嘔みなんて当たり前だし。それは、嘔むっていうのは本当はあっちゃいけないし、なるべく未然に防がなきゃいけないけど。対友達がいるから、起こり得ることであって。対友達がいるから、嘔みたくなる感情が生まれるから、逆にだから成長するとか、分かって、みたいな。

T: ちなみに、何でそんな結婚はしたいの？

I: うーん。やっぱり女の子に生まれた以上は好きな人と結婚するっていうのは夢でしたね。やっぱり彼氏のままでは家族ではないので。結婚することで自分の1大切な存在になるので、そういう人が側にいるってだけで目標も常にできますし。上手く言えなんですけど。

T: いや、わかるよ。じゃ変な話だけど。子どもはプロなわけじゃん？これで飯食ってるわけだから。自分が子育てしたら？って。どう？

I: 分かんないんです。

T: わかんないんだ？それ、失礼だけど、すごいね。大人だね、そうやって思えるのは。

I: いやあ。

T: だって、かわいいから子ども欲しいっていう、安易な人、いっぱいいるじゃないですか。

I: 思いますね。でもお金も私実際ないし。子ども育てるんだったらそれなりの覚悟ないと。今の自分にはまだ育てられないし。仕事もうちょっとしとかなないと。

T: 育休は取れるでしょう？多分、普通に。

I: 常勤で、ずっと働かし、育休も常勤じゃないと取れない。働くけど。子どもいない体で働くのと、子ども産みましたっていうのは、違うし。帰ってからまたっていうのが結構キツイ。まだ、他人の子でいいかな。

T: 逆にその方が、自分の子だったら、また神経質になるんだろうなって思うし。こうはいかないよねってなるし。ただ、実質この仕事してると昔だったら、出会いがなくて。だけれども、アプリとかできたおかげで、相手に会うことは一応できるわけだね。

I: できるし、楽しいし。働く意欲じゃないですけど。理由ができるじゃないですけど。これ頑張れば、これが待ってるみたい。単純だけど、それが無いと結構。

T: 彼氏いることが自分のモチベーションなんだ？

I: 結構キツイし、今4歳持つてるから、やることもだんだん、次5歳になるし。ある程度はできるようにさせなきゃいけないっていうのもあるし。発表会の練習がキツイんです、本当に。

T: いないとしんどいの？やっぱり、彼氏が。

I: だから、至れり尽くせりです、行くと「いいから、休んでて」とか。

T: 本当にいい人だね。気遣ってくれるんだ？

I: 「いいよ別に、やらなくていい」とか言ってくれるからいいけど。それはそれで、やらせ過ぎもよくないし。ぶっちゃけ、料理なんて全部してくれるんですけど。私が作る時もありますけど。それ無いと、変な話、大工とかって人との関わりはあるけど、作業だから。体力的な疲れはあるけど。こっちは体力、休憩も無い、ストレスも溜まる、気遣いとかもある。職場の空気のアレもある。キツイんです、こっちは。でも彼は休憩時間に少しぐらい寝れる、みたいな。30分ぐ

らいトラックの中で寝てる。こっちはそんな気分無いし、むしろ寝れないし、見てなきゃいけないし。書類も書かなきゃいけないし。休む時間無いから。私は基本的に9時間、長くて10時間無いって決まってるけど。決まってる中で終わるけど、向こうはそれ以上伸びることもあるけど。どっこいどっこいなんです、疲れが。

T: 分かってくれるのはいいね、でも。

I: 分かってくれるし、聞いてくれるし。

T: それは、この後、会いに行くの楽しみですね。

I: そうですね(笑)

T: アプリ、友達に勧めればどう？それこそ。

I: もう、いい。

T: それはいいの？何で？

I: 別に勧める人いないもん。友達少ないから。

T: 少なくとも、本当にさっき言ってたけど、本当に出会いが無いわ、っていうのは、アプリのおかげでこれからはないよね。

I: でも、お金は、出会いは無いですよ？私も。すぐやんなきゃ、これやって、あれやんなきゃ、無いんですけど。自分で探しに行くじゃないですけど、その場を。

T: 待ってるんじゃないくて、合コン行くなり、例えば誰かに紹介してもらったり、これ使うのは、別に、自分的に恋活して、婚活してっていうことだね。

I: でも私は合コンとか嫌いだから。面倒くさいっちゃ面倒くさいです。連絡とか。そこまですごいマメじゃないし。好きな人にはマメだけど。

T: 便利だね。確かに。

I: だから、便利っちゃ便利ですけど。今、いてくれて、逆に支えにはなってる。

T: いい人に会いましたね、本当に。

I: 本当です。1回、実家一緒に行ったんです。荷物取りにがてら行って。私の家に一緒に来る時に、「Iを、実家に連れてく夢見たわ」とかライン送ってきて。何年後になることやらとか言ってたけど。当分、先だろねとは言ってて。もし一緒に住むってなっても、挨拶はわざわざあっちには行かないと思うし。

T: その辺の進捗聞きたいですね。子どもとか今後。逆に、子ども要らないってなるご家庭もあるから。

I: 欲しいとは言ってる。でも今はいい。いずれは。

T: いつかは、自分も欲しい？

I: 欲しいですよ、そりゃ。でも現実的には無理だし。今できちゃったら仕事になんないし。実際今、同期ができ婚ったの。それでしかも切迫になっちゃって。

T: 狙って、したの？それ。

I: 知らない。でもこの業界で、でき婚っていうのは、ぶっちゃけあり得ないんです。OLとかアパレルとかは許されるかもしれないけど、まず無理なんです。本当はしちゃいけないんです。暗黙のアレですけど。し

かも担任持つてる人がこの時期発表会前に、そんなの。

T: それで問題になったじゃん、一時期。勝手に子ども作りやがって、みたいになって、みたいな。

I: でもそういう言い方せざるをえないっちゃ、えないですけど。言っちゃいけないって分かって。思っちゃいけないって分かってはいても。

T: でも辞めたいから、休みたいから、わざと作って人もいるかもしれないしね。

I: 辞める!? この時期に? っていう感じなんです。2月15日なんです、本番。先週から1週間ずっと休んで。絶対安静になっちゃったけど。彼氏と手繋いで。普通に歩いてるの見られちゃってるし。元々そういう、色々あったんです。疑惑ですけど。全然書類が無くて。

T: 辞めたかったんじゃない?

I: でも、私より1カ月前に入ってるから、ほぼ同期みたいな感じなんですけど。辞めるならちゃんと、年度末まで働いてくれないと。ただでさえ0歳なんだから、引き継ぎもしなきゃいけないし。まず、発表会なんて、本当に大きな行事の時に、何で? みたいな。だって、0歳休まれちゃったら、全部職員そっちに持ってかれちゃうから。上になんて来てくれないし。上にもやっぱ、次もいてくれないと。

<中略>

T: 私、子育て頑張ってますって見えるけれども、ぶってる? ってどういうこと。

I: 実際、そうでもない、みたいな。子どものこと見てなかったりとか。多分、仕事してるからなんでしょうね。意外と子どものこと見てなかったりとか。うちは自由なんで、みたいな。自由にも限度があるでしょう、みたいな。だから親の言うことなんて全然聞かない子とかもいっぱいいるし。変な話、4歳5歳とかになると子どもによっては、親をなめてる子とかいるし。うちのお母さんは、こうやって言えば、駄々こねれば、俺の言うこと聞いてくれるとか思っちゃう子もいるし。

T: そういう親を見てて、さっき言いかけたけど。

I: だからまだ自分は無理。そうなって欲しくないし。

T: ちゃんと自分がってこと? 子どもに。

I: うちの野菜食べなくていいんです、みたいな親も平然といるし。野菜食べなくていいっていうのは、違うっしょ。嫌いと食べないのは違うし。そんなの常識的に考えたら分かるじゃないですか。だから、そういうのも意外と見てないんだあとか思うから。私はそうなりたくないし。多分その人も手は抜いてる訳じゃないんです。そういう方針だから。だから、全然スーパーとかで騒いでも、私も騒いでた方かもしれないけど、普通に店の中で怒られてたし。見てないじゃないですか。こっちだから、今、携帯だから、画面。見てる方向が違うから。だから絵本とかでも「ママ、僕を

見て」だっけ? そんな絵本あるじゃないですか。そういうのがあるけど。だから料理してる間は Youtube とか見せちゃってるから、お絵描きできない子もいるし。画面しか見てないから。家で塗り絵とかもしないし。確かに大変だけど、ちょっと遊んであげてって私は思っちゃうんです。確かに分かりますよ。大変だし。家のこともやらなきゃいけない。ご飯も作らなきゃいけない。お風呂にも入れなきゃいけない。でも言うことはちゃんと行って欲しいし。だから子どもの服がどんなに伸びてようが、縮んでようが持ってくるし。お腹出てきてるのも全然気にしないとか。今までずっと自分はどうやって育てられてきたんだろう、みたいな。でもそれが意外と若いお母さんじゃないんです。むしろ若いお母さんの方がちゃんとしてたり。ご飯とかも、家で食べてます? とか連絡帳とか、乳児には書くんですけど。書くお母さん、書いてくれるから。

T: ベテランって2、3人目ってこと? 子どもが。

I: も、いる。

T: 年配のお母さんの方が関心が無いってこと?

I: でも変な人、いっぱいいる。最近の人。子どもが熱出てるのに、眠いからでしょうとか。少し、運動したからでしょう、みたいな。いやいやおかしいでしょ。38度はもう熱ですよ、みたいな。でもそれ、医者のお父さんが言うんです。0歳の子が38.3度あるんです。迎えに来て下さいって言う。「元々熱が高い子なんですけど。ちょっと動いたからじゃないんですか?」みたいな。「運動したらそうなりますよね。眠い時とかそうなりますよね。って。午睡明けとか、確かに高いんです、熱が。でもせいぜい上がっても37.5度だし、って思うし。こんなぐったりしてるし、目もトロンとしてるんだから熱出てるでしょうって。だから結局医者だから、夜帰って薬強い飲ませて。次の日仕事行きたいから預けて、また電話して。1回そのお母さんも呼ばれて、毎回電話されても困るんです、みたいなことこっち言われて。困るんだったら預けるなよ、みたいな。うちは病児保育やってないって、最初から説明してるし。普通の変な話、胃腸炎になった時も普通のご飯を食べられるようになってからじゃないと、来れないんです。そんなにわざわざ1人分のために作れないんです。だから、だったら病院のように病児保育に行かせるとかしてもらわないと。こっちとしては、ハッキリ言って困るし。最初に説明してることをやってくれない親とか、普通にいるから。言いましたよね? みたいなことを言いたくなるような、親はいっぱいいる。それ見ると、私はそういう人になりたくないなって、見ちゃうから、なりたくないんです。

T: もちろん外で見てんのと、自分がなった時の難しさはあるかもしれんけど。勉強にはなるよね。

I: しかもこっちは、現場の大変さ知ってるし。だから1人熱出たら、その子を別の部屋で見てなきゃいけないから。そっちに1人職員が取られちゃうんです。そうなると結構大変で。だから私を面接した園長と今の園長違うから、園長が変わるってのも知らなかったし。今の園長の所だったら、絶対今の園長が働くって分かってたら、ぶっちゃけ働かなかったけど。でも変な話、園長が嫌なのも、周りの先生がいるから、何とかやってけるし。みんながそういう気持ちがあるっての分かるから、頑張れるだけです。

T: チームになってるね。

I: 前のとこはそんなのも無かったから、続けられなかったけど。

3、分析・まとめと今後の課題

3-1 恋愛観を含めた若者論からのキャリア分析

Iさんも研究(5)でのHさん同様の特徴が見受けられた。例えば木村絵里子⁴⁾は、現代の若者は恋人がいることが唯一生活満足度と関連していると述べる⁵⁾。そして、ときめきやドキドキ感といった非日常性よりも、面白さや、趣味に理解がある、生き方・ライフスタイルが、交際相手に求める条件の上位に入っていると指摘する⁶⁾。Hさんは調査当時が岐路に遭遇していたこともあり、彼氏の存在は人生選択や苦難への支えと見受けられた²⁾。しかしIさんは危機を抜けたこともあり、彼氏がいることによる幸福感の方が大きい。しかし両者とも木村の指摘通り、非日常感よりも日常感を重視している。そしてそうした彼氏の存在は、Hさん同様に保育者に多い女性的な結婚観を助長させている。こうした様相を鑑みれば、Iさん自身は「ありえない」と同僚の妊娠を差別していたが、保育者の幸福なキャリア形成に結婚出産は欠かせず、そうした面を否定しない労働環境や保育者養成こそ求められよう。

加えて、そうした彼氏との出会いがマッチングアプリであったという点に着目したい。例えば阪口祐介⁷⁾は、ケータイによって友人関係を維持、深化、拡大させていく一方で、一部の若者はそこから取り残されていく「つながりの格差」が拡大していること⁸⁾を論じている。この点を鑑みれば、メディアの多様化によって、つながりが格差化するなかにおいて、Hさん同様に彼女も勝者であったことが、現在のIさんの様相に肯定的な影響を与えていることがわかる。実際、IさんにもHさん同様に趣味縁⁹⁾としてバレエのつながりがあり、そこでの人間関係が休職からの回復を果たすために一役買っていたように看取できる。例えば乾彰夫と児島功和は、子ども達や若者が成長し自立するためには一定の媒介的コミュニティが必要であることに言及している¹⁰⁾。HさんにはTwitterのオフ会での出

会いがこの媒介的コミュニティに相当する²⁾が、Iさんの場合はバレエという趣味縁が該当するだろう。「友達が少ない」と言いつつも、バレエの人間関係は彼女を癒し、しかも保育者でもあるバレエ仲間の助言によって彼女はキャリアを拓く端緒も得ている。こうした点を踏まえれば、リアリティショックへの対応のためには、やはり今後の養成機関では人間関係つまり社会関係資本を形成する資質をどう形成するかが重要になってくるだろう。

他方で、精神科にも通うような状態にまで陥った彼女が回復した要因が職場移転であったことも見逃せない。前職場における十分なOJTも無く疲弊した様相は、研究(3)でのEさん同様に、ゆとりと助けの無い職場環境から起因している¹¹⁾。だが現在Iさんは、十分な支援がある新たな職場では能力を発揮できている。この点を踏まえても、宗教的にやりがい搾取をされている保育者しか続けられないという悪しき淘汰が、職場の劣悪さを維持してしまっていることが指摘できる。したがって、残っている人を基準にして新人を指導したり、新人に既存の職場文化に適應させたりするのではなく、新人が働きやすい基準で既存職員や職場を再構築する必要性が再確認できよう。さもないと、続けている屈強な保育者達は、自分達が努力して適應してきた環境に馴染めない新人³⁾を目の敵にしてしまう。そして研究(5)でのHさんのように能力があっても発揮することができず、保育業界自らが保育不足を助長する皮肉な状況に陥ってしまう²⁾。優秀な保育者であつたらう養成機関の指導者達こそ、こうした現状を認識し、保育現場に対して異論を唱え、より幅広い層の保育者が働ける、換言すれば、技量があれば屈強でなく疑問を抱えている保育者でも働けるような職場を実現し、万が一ブラックな職場に遭遇した場合には、即座に自分の身を守る行動³⁾や、積極的転職を是とする認識をしなければならぬ。

3-2 再魔術化する若者の様相

ところで、Iさんも研究(4)でのFさんとGさん同様に占いを気にしていた³⁾。例えば土井隆義は、伝統離反が相当な程度進み、それに伴って生きる意味の空白化も進んできたからこそ、その反動としての伝統回帰が始まり、共同体への憧憬も強まっている¹²⁾と述べる。そして実際に占いや宗教を信じる若者は多い¹³⁾。特に橋迫瑞穂によれば、こうした傾向はジェンダーを再生産する道具とされる雑誌に占いが載っている女子¹⁴⁾に強い。そして占いは学校での人間関係をその都度場面に応じて分析する「認識のための地図」を提供し¹⁵⁾、そこでの人間関係を自明のものとするだけでなく、適應して生きる意味と価値を強化する¹⁶⁾効

果があると述べる。例えば牧野智和は、こうした女性の傾向を、A.ギデンズを援用して「自己の再帰的プロジェクト」と捉えている¹⁷⁾。つまり自らによって人生の意味づけを試みる行為である。また土井も、自らの運命を変えるための手段ではなく、その宿命を知るための手段¹⁸⁾であり、自らの生の根拠探しをして、宿命の手助けをする変更不可能な運命¹⁹⁾としての魔術を求めていると述べる。更に大澤真幸は、カウンセリング等によって出来事に解釈を加えることで、トラウマ等を人生の中に意味づけ、物語化することで傷を内面化していく²⁰⁾効果について述べる。したがって、人生や行動の意味づけの効果を持つ占いに彼女達が従う様相は、こうした知見そのものであると言える。ただ牧野は、この意味づけは女性誌の提示する女らしさの枠内に留めてしまうと注意喚起してもいる²¹⁾。

またそうした若者の性質を鑑みた場合、彼女が最初に勤めた場所も、Hさん同様に母園だったこと²⁾に着眼したい。土井は、若者は過剰な選択を迫られる現代を生きる不安を和らげるため、生得的な属性を共有する関係へと拘りがあると述べる。そして血縁にせよ、地縁にせよ、生まれ育った場所に留まり、その組み換え不可能ゆえに固定的で安定した居場所と感じる傾向がある²²⁾と指摘する。彼女が不安を解消するために母園を選んだかどうかは不明だが、休職中を含め、血縁者である母は彼女にとって大きなウェイトを占めているように見受けられた。こうした関係性も土井の述べる、生得的なものが自分の生き方を導いてくれ、自由選択に伴う不安を解消する²³⁾手立てであったのかもしれない。土井は、こうした傾向を前述の占いに代表される絶対的なものへの希求と見なして再魔術化と呼んでいる²⁴⁾。もちろん彼女は現在では母園から脱却してはいるが、それは絶対的なものに依拠することに見切りをつけた結果であったのかもしれない。いずれにせよIさんの様相は、人間関係を含めた若者文化における再魔術化のキャリア形成への影響が確認できた事例であった。

3-3 本稿のまとめと今後の課題

本稿では前稿(5)に続き、保育者のキャリア形成の様相を主に若者論の観点から分析した。母園で働くという土着志向、母によく相談するという血縁志向、そして占いを気にするという再魔術化の傾向が看取できた。実際に、Iさんのように彼氏の存在を過剰に支えにする傾向も再魔術化の一種であり、こうした点からも若者の生きづらさとそれへの対抗策が垣間見える。しかし、そうした生きづらさや働きづらさを保育者個人の責任問題に還元せず、彼女のような保育者でも働けるような助けのある職場環境や、環境変化によって

自らを活かす積極的な転職の効果も明らかになった。

またIさんを含めEさんやHさんら筆者と友人関係にあり²⁾¹¹⁾、ラポールが形成されていると思われる場合には、質的調査そのものにカウンセリングの効果あると示唆できる可能性も高まってきた。実際そうした間柄のせいも、Eさん、Hさん、Iさんの調査は他のインタビューイ比べて長く、比較的自発的に話してくれていた。またIさんに関して、調査中も終了後も饒舌に話し、「スッキリした」という言葉を残してくれた。彼女達の後の発言を参考する限り、話を聞くことで、調査に副次的な効果が生じたようだ。今後はその点も詳述したい。

引用文献

- 1) A.ファースト、F.カーメトル：乾彰夫、西村貴之、平塚真樹、丸井妙子訳。若者と社会変容—リスク社会を生きる。大月書店、18(2009)。
- 2) 玉木博章：指導主体としての保育士・幼稚園教諭のキャリア形成に関する研究(5)—人生の岐路での心理的葛藤に生じるジェンダー観・人生観・文化性に着目して—。瀬木学園紀要、16(2020)。
- 3) 玉木博章：指導主体としての保育士・幼稚園教諭のキャリア形成に関する研究(4)—離職と転職に直面する心理的葛藤に生じるジェンダー観と勤労観に着目して—。瀬木学園紀要、16(2020)。
- 4) 木村絵里子：「情熱」から「関係性」重視する恋愛—1992年、2002年、2012年調査の比較から。藤村正之・浅野智彦・羽淵一代編。現代若者の幸福 不安感社会を生きる。恒星社厚生閣、137-168(2016)。
- 5) 木村絵里子：「情熱」から「関係性」重視する恋愛—1992年、2002年、2012年調査の比較から。藤村正之・浅野智彦・羽淵一代編。現代若者の幸福 不安感社会を生きる。恒星社厚生閣、165(2016)。
- 6) 木村絵里子：「情熱」から「関係性」重視する恋愛—1992年、2002年、2012年調査の比較から。藤村正之・浅野智彦・羽淵一代編。現代若者の幸福 不安感社会を生きる。恒星社厚生閣、158(2016)。
- 7) 阪口祐介：若者におけるメディアと生活の相互関係の変容 2002年と2012年時点間比較。藤村正之・浅野智彦・羽淵一代編。現代若者の幸福 不安感社会を生きる。恒星社厚生閣、169-190(2016)。
- 8) 阪口祐介：若者におけるメディアと生活の相互関係の変容 2002年と2012年時点間比較。藤村正之・浅野智彦・羽淵一代編。現代若者の幸福 不安感社会を生きる。恒星社厚生閣、188(2016)。
- 9) 浅野智彦：若者の気分 趣味縁から始まる社会参加。岩波書店(2011)。
- 10) 乾彰夫・児島功和：後期近代における〈学校から

仕事への移行)とアイデンティティ「媒介的コミュニティ」の課題. 溝上慎一・松下佳代編. 高校・大学から仕事へのトランジション 変容する能力・アイデンティティ. ナカニシヤ出版, 215-236 (2014).

11) 玉木博章: 指導主体としての保育士・幼稚園教諭のキャリア形成に関する研究(3) —休職と復職に直面した心理的葛藤に生じる誤った道德観と勤労観の批判—. 瀬木学園紀要, 16 (2020).

12) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 63 (2019).

13) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 69-73 (2019).

14) 橋迫瑞穂: 占いをまとう少女たち 雑誌「マイバースデイ」とスピリチュアリティ. 青弓社, 26 (2019).

15) 橋迫瑞穂: 占いをまとう少女たち 雑誌「マイバースデイ」とスピリチュアリティ. 青弓社, 124 (2019).

16) 橋迫瑞穂: 占いをまとう少女たち 雑誌「マイバースデイ」とスピリチュアリティ. 青弓社, 100 (2019).

17) 牧野智和: 自己啓発の時代—「自己」の文化社会学的探求. 勁草書房, 180 (2012).

18) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 78-79 (2019).

19) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 78 (2019).

20) 大澤真幸: 「正義」を考える 生きづらさと向き合う社会学. NHK 出版新書, 26-32 (2011).

21) 牧野智和: 自己啓発の時代—「自己」の文化社会学的探求. 勁草書房, 182 (2012).

22) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 65 (2019).

23) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 65-66 (2019).

24) 土井隆義: 「宿命」を生きる若者たち 格差と幸福をつなぐもの. 岩波書店, 69-80 (2019).